

進路たより

NO. 3

各クラスとも、評議員が決まりました。快く承諾していただき、誠にありがとうございます。わたしも、昨年まで娘の小学校の学級評議員をしておりましたから、その苦労を身にしみて感じています。ましてや、卒業学年となると、これからの行事などの運営をお願いしなくてはなりません。それでも、お引き受けしてくれたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。先週の水曜日に、1回目の評議員会を開き、PTAの役割分担を決めました。あっという間に、分担が決まり、懇親会の日程までほとんど決まっていく様子を目の当たりにしてびっくりしました。こんなチームワークのよい評議員さんなら、きっと楽しく1年間を送れそうだと、またもこの学年にきて嬉しくなりました。

見えない部分…

最近、我が家の郵便ポストに1通のはがきが届いていました。そのはがきは、以前一緒にM中で授業を行っていて、この春ご退職になったT先生のものでした。T先生のご退職は、わたしにとって突然で、ずいぶん驚いたのですが、それと同じようにもっと驚いたのは、近況を知らせるおはがきでした。いただいたおはがきは、全て手書きで書かれているのです。普通、職場が変わったり、あるいは退職なされた際に、その旨を通知する手紙は、印刷屋に注文したり、ワープロを利用して、その文面の例を活用して印刷するものが一般的です。その人に向けてのメッセージは、ちょちょっと1、2行、印刷した文面の隅に書くのです。わたしもそうしてきました。でも、T先生のおはがきは、違います。全てが手書き。多分、先生のように、経験豊かな方ならば、少なくとも何十通と手紙を差し出したでしょう。それを全部、手書きで出されたのでしょうか？このようなことに、わたしは、T先生という方の人となりを感じてしまうのです。これまで、自分が異動した際に作った、異動を知らせる手紙と比べながら…。そして、この1枚の手紙におかけになった時間を想像すると、そのありがたみに、頭が下がるのです。

教室という空間をどのようなものにするかは、生徒の心を安定させることを考えると、とても大切なものです。学級がスタートしたときには、何にも貼られていない、がらんとした教室を、どのような掲示物で、心楽しいものにしていくのか頭を悩ませたりもします。“教室環境を整える”なんて言ったりしますが、この環境は1年限りの期間限定です。だからこそ、毎年同じ、どの教室に行っても同じというのではなく、ここで生活をしている、子ども達の息吹を感じるようなものにしたいものです。年度当初は2、3時間程度、この教室環境整備のための学級活動の時間が、どの学年のどのクラスにも与えられます。

金曜日、教室を回ってみると、A組の黒板の上には早々に学級目標が貼られました。後ろの方には、班員の名前や係活動。BやCも、6時間目の学級活動では、手分けをして教室を着飾

っているようです。教室にどんどん生命が宿りだします。どうぞ、そんな観点で、今日の学級懇談に参加なさると、また違った見方ができるかもしれません。 教室に命がやどりだしたと思えば、先週は、強風やら吹雪やら、停電やらで、学校はてんてこまいでした。先生方は、JRが止まると役割分担で、生徒の安全を確保しています。担任の先生が朝の会に出れなかったので、代わりに B 組に出ます。

JR の生徒が全員無事に到着するまで、時間がありましたので、『なんか、今、気になるニュースを言って』と聞いてみました。

「じゃあ、S くん」

「来ると思ったー。」と、S くん。それでも、S くんは、「ボーガンで鹿がさされたニュースかな。」と、教えてくれました。

「僕は、タイでカメラマンが殺されたことです。」と、今度は T くん。それぞれに、簡単な解説を加えて、説明してあげました。二人とも、テレビの報道で映し出された背景にある残忍性や、死について、心に残ったみたいです。

見るということは、大切です。でも、それよりもっと大切なことは、見えない部分を想像することなのです。大人であり保護者である私たちにとっても、きっと重要な点ではないでしょうか。

わが子の見えない部分を垣間見るには、わが子だけを見るのではなく、一緒に生活を共にしている仲間の子どもを通してこそ、親として見えていないわが子の真の姿に辿りつくこともあります。

朝、玄関に行くと、忘れ物をお母さんが届けてくれました。それを持って、その生徒に渡したら、驚いた表情と嬉しそうな顔。

きっと、お母さんの優しさがうれしかったのでしょう。

家族のありがたさを感じているかどうかなんて、家族が見ていないところでこそ、わかるんです。

----- きりとりせん -----

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp